

2023.5.24

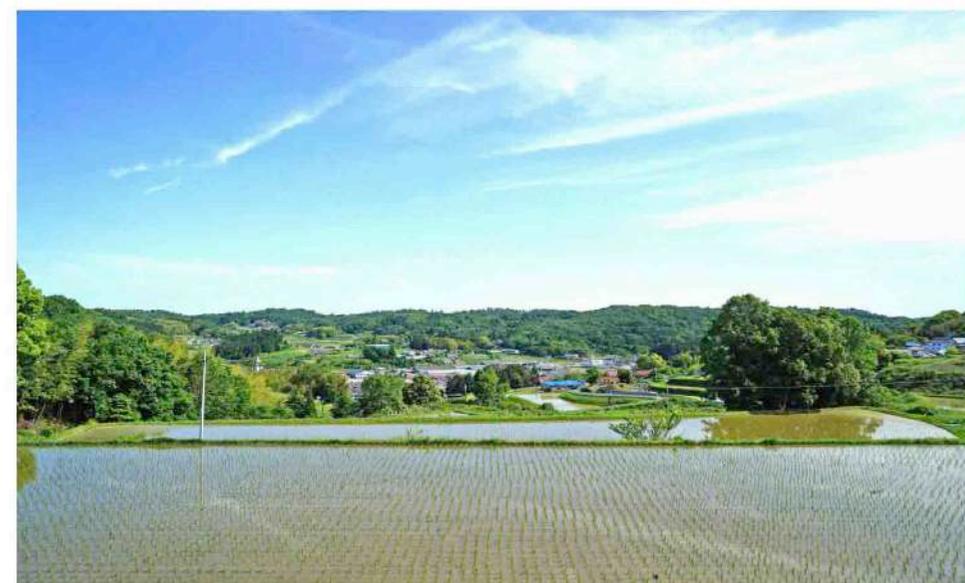
とと道トレイル三山＝洗場ルート現状報告

By HK

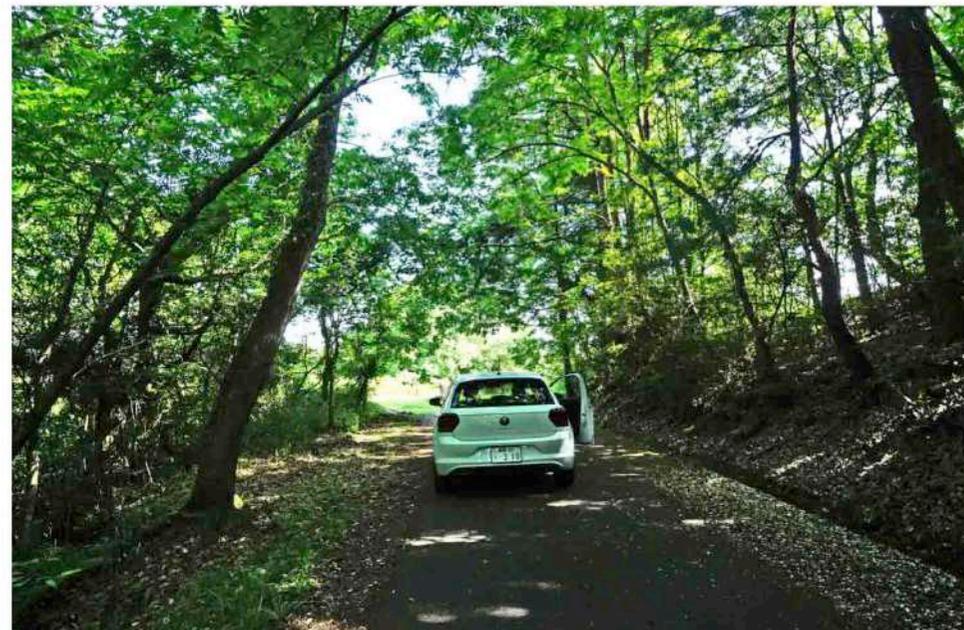
ゴールデンウィークが終わり新緑の緑は深みを増しつつあります。この時期のとと道はどうなっているのか？ 美星の高みのルートを辿ってみました。結果は、昨年秋の草刈りの効果は未だ健在で、草に阻まれることなく、新緑を楽しみながら気持ちよく歩けます。おかげで、冬の寒い時期ではなく、梅雨前の爽やかなこの時期のウォークの可能性が湧き起こりました。今年度(来年度?)企画として協議会で日程検討の予定です。



①三山から金定に向かって登って行くと美星の中心部の集落が見下ろせるようになります。金定古墳のそばの棚田では田植えが始り、機械では植えられない隅の方での手植え作業が進んでいました。



②田植えの終わった棚田の横をゆっくりと登るにつれ背後の眺めが広がり、空が近くなった様に感じます。魚仲士達がこの地を辿ったのは真夜中。満天の星が道案内をしてくれたことでしょう。



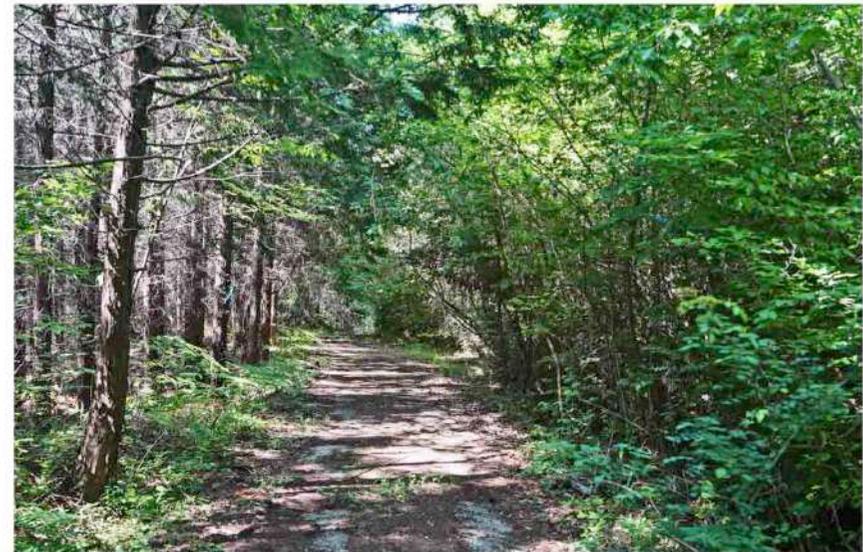
③痰咳様を過ぎ、坂道を登りつめると道は林の中に入ります。木漏れ日があちこちに点在してすがしい林道歩きです。



④公開ウォークではバスに乗って通り過ぎてしまう大日如来の牛供養碑道標をじっくり拝見しました。すぐ左隣に東西に別れる二股があり、右は「小田」、左は「やかげ」と刻字されています。でも、ここで二股になるのは少し早いんじゃないか？と不思議に思われる位置です。かつての道は一体どう敷かれていたのか？迷路美星でも気になる道標です。



⑤林を抜けると右手から市道が登ってきて合流します。交通量の少ない山の中の道ですが広々とした舗装道路で気持ちよく歩けます。北に向うと空が開け、冬には真っ白な大山が望見できます。



⑥そこからほどなくあずきもちの入口です。市道は左手に下ってゆき、洗場の上でまた合流することになります。あずきもちは右側を登ります。林間に入っても雑草は有りません。木漏れ日が美しいなららかな林道が続きます



⑦川上郡と小田郡の境となるほぼ700mの道がある一帯を「あずきもち」と呼ぶそうです。そう聞いてまず思うのは往時の小田郡は金浦からほぼ25km北上してこの地点までをカバーしていたのだということです。となるとその隣の川上郡なる地域は往時の下道郡とどの様に区分けされたのか？が気になってきます。それに「あずきもち」という名前は一体何を意味しているのでしょうか？このあたりの歴史についてどなたか解説いただけないものでしょうか。坦々とした木漏れ日道が続きます。

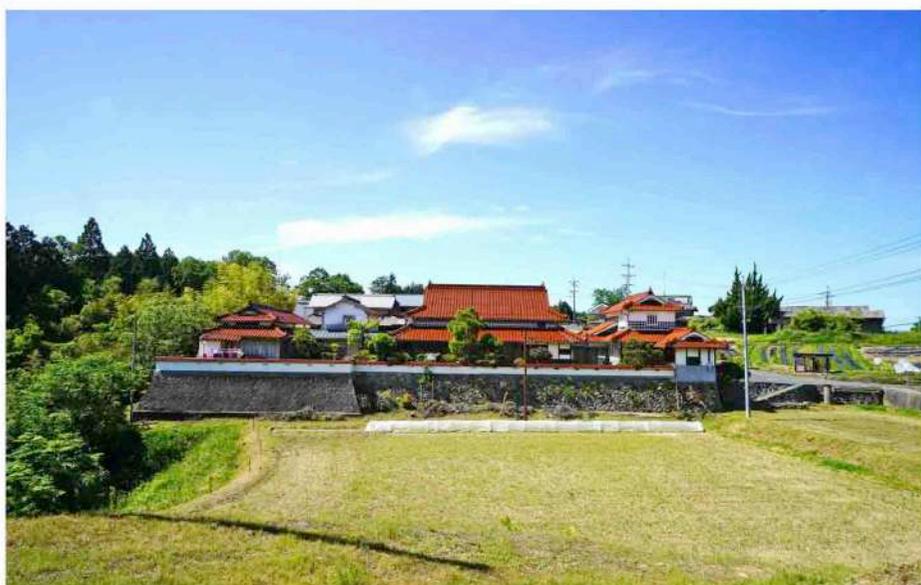


⑧かつては何か特異な場所として大変長く感じた「あずきもち」は今は慣れて短く感じられるようになりました。林のトンネルを抜けると左手に田植が済んだばかりの水田が現れます。本当はここではないそうなのですが正に黒萩神社の神田と思ってもいいんじゃないかと思える様な眺めです。これも冬ではなく春という季節のおかげでしょうか。この水田の北西側の一段には大日如来の道標があります。





⑨あずきもちから洗場入口へ。見事なほどの五月晴れで世界が光り輝いています。ウォーキングはできればこんな日にしたいものです。この時期で洗場上に登る細道の草丈はほんの10cmほど。高度が450m と高いせいかもしれません。



⑩三山から洗場上まで車と徒歩で1時間ほど。これで笠岡から洗場まで、4月から3回に分けて要所チェックができました。やはりこの春の時期を避ける手はありません。今年度のウォーク企画は春も含めて検討することといたしました。ご期待ください。

洗場上の恒例の集合写真場の北側にある豪邸が目につきます。しばらく無人だったのですが昨年春から近畿地方の方が移り住んでいらっしゃるのか。そのせいか、家の佇まいそのものに精気が吹き込まれた様に見えます。家を守る、道を守る、事業は違えど思いは共通するようです。

了